

令和6年度入学試験問題（学校推薦型選抜Ⅱ）

小論文

人文社会学部 人間社会学科

注意事項

1. 受験番号を解答用紙の所定の欄に記入すること。
2. 解答は、必ず解答用紙に記入すること。
3. 解答用紙の他に、下書き用紙を配付するので、取り違えないよう注意すること。
4. 解答時間は、120分である。
5. 横書き、鉛筆（シャープペンシルを含む）書きにすること。

問 題

非公開

非公開

非公開

非公開

*D&DEPARTMENT：正式には D&DEPARTMENT PROJECT。デザインとリサイクルを融合した事業。筆者が代表を務める。

（ナガオカケンメイ、『二流でいこう 一流の盲点 三流の弱点』, 集英社クリエイティブ, 2013 年, 12～83 ページ, 抜粋・一部改変）

令和6年度入学試験問題（学校推薦型選抜Ⅱ）

小論文

人文社会学部 人間社会学科

出題の意図

人間社会学科は、人間科学に関する専門的な知と幅広い学際的な知をもとに、個人の尊厳を保ち、自由・公平に、また安心・安全に生きることができる社会を形成する人材を養成することを目指す。

この問題では、人間社会学科がアドミッション・ポリシーで求めている諸能力のうち、理解力、論理的思考力、記述力を評価対象とする。

この問題では、ナガオカケンメイ氏の『二流でいこう 一流の盲点 三流の弱点』という著作の一部を用いる。一流であることがもともと評価され、多くの人が一流を目指そうとする現代社会において、筆者は自身を二流に位置づけると共に、二流の積極的な存在意義を説いている。

問題では、まず二流についての筆者の考えをまとめさせることにより、受験生の理解度を測る。次いで、自分自身の生き方について論述させることにより、論理的思考力と記述力を見極める。